

2024年度 第6回 豊岡市子ども・子育て会議 議事要旨

日時	2025年1月20日（月） 13時30分～14時44分	
場所	豊岡市役所 大会議室	
出席者（委員）	曾根副会長、天野委員、一ノ尾委員、上坂委員、大友委員、渋谷委員、鈴木委員、田中委員、戸田委員、永田委員、西垣委員、水田委員、三輪委員、森本委員、吉岡委員、	
（事務局）	永井部長、若森課長、佐伯参事、福田主幹、谷垣係長、吉本課長、道下課長補佐、中村主幹、河本参事、谷口参事、谷垣課長補佐、樋口主幹、吉谷参事、井上課長、 （(株)名豊 大川）	
欠席者（委員）	水落会長、川島委員	
会議次第	1 開会 2 副会長あいさつ 3 議事 (1) 報告 - ア パブリックコメントの結果について (2) 協議 - ア こども計画（案）について (3) 意見交換 4 その他 (1) 次回の会議日程 (2) その他 5 閉会	
配布資料	資料1	豊岡市子ども・子育て会議委員名簿
	資料2	豊岡市こども計画（素案）に対する意見の募集結果と回答について
	資料3－1	豊岡市こども計画（案）
	資料3－2	豊岡市こども計画素案からの変更点
	資料3－3	指標の説明資料
	参考資料1	豊岡市子ども・子育て会議条例
	参考資料2	豊岡市子ども・子育て会議傍聴要綱

議事要旨

1	開会	開会の宣言（事務局）
2	副会長あいさつ	副会長あいさつ
3	議事	
	(1) 報告	
	事務局	ア パブリックコメントの結果について 資料 2 （特に質問等なし。）
	(2) 協議	
	事務局	ア こども計画（案）について 資料 3－1～3
	副会長	事務局の説明に対し、何か、質問・意見があるか。
	委員	17 ページの施策体系図「こどもの居場所がある」の取組例、ひきこもり対策のところ豊岡ランチとあるが、これは「但馬ランチ」であるので訂正いただきたい。できれば「ドーナツの会」まで付けていただけると分かりやすいと思う。 居場所マップづくりの方もお願いしたい。 以前のアンケートで、豊岡市で子育てをしたいかという設問の回答で、地域によって格差があり、市街地は高かったが但東と竹野辺りが低かった記憶がある。豊岡市は大きいので、市街地だけではなく、どこにいても安心して子育てができる施策を具体的に示していただきたいと思う。
	事務局	豊岡ランチの表記に関しては、但馬ランチに訂正する。 居場所マップづくりについては、来年度中には公開したいと思っている。地図上にピンを立て分かりやすくする予定だが、ピンの色をどうするのか、居場所もいろいろな形態があるため、使う人たちで分けるのか、やっている人たちで分けるのか、ニーズで分けるのか、いろんな分析軸で考えて作成していく。 子育ての地域格差については、以前にまちづくりアンケートで示した資料だと思うが、市内のどこに住んでいても同じような満足度になるのがベストだと思っているので、それに向けて取り組んでいきたい。
	委員	居場所マップができた際は、こどもたちが学校で実際にそのマップを見る時間を取っていただけると、こどもがこういうマップがあるということが分かると思う。チラシやホームページで公開しても、保護者でさえ見ないかもしれないので、こどもたちが、豊岡市がそういう取組をしているということを知ること必要だと思う。
	事務局	居場所マップを公開した際には、きちんとこどもたちに届くように、手段を検討していきたい。
	委員	活動指標にある教育相談室や子育て支援センターの相談件数について、目標値が増えているが、これは相談件数が増えた方がよいと考えているのか。相談件数は、減る方がよい気がする。増やすか減らすか、どちらで考えているのか。
	事務局	相談件数については、最終的には減るのが最もよいと思っているが、現実と

して、不登校のこどもが増える等課題が山積している。相談場所があるということが大事だと考えている。2023 年度の教育相談室の活動件数は 124 件であるが、これですべてを拾いきっているとは言い難い。気軽に相談できる場があるということを知ってもらうことが大事であると思うので、今後さらに相談室をアピールしてしっかり引き受けていく姿勢を出したいということで、結果的には、5 年間で件数が増える目標値とした。

委員 相談件数について、特に不登校、ひきこもり、子育て等、日本の社会はどうしても相談しにくく、もっと早く相談して下さったらよかったのという事案が多いので、私は、相談件数は多い方がよいと思う。不安なことを自分自身や家族だけで抱え込まず、気軽に相談できる社会を目指していかないといけないので、そのように数値を捉えた方がよいのではないかと思います。

委員 計画案の 22 ページの具体的手段（２）地域のこどもを地域で育てる意識が高まり、こどもを対象とした活動が増えているということで、これは、こどもを含めた活動をしている地域コミュニティ組織を指されていると思うが、未就学児がこども園に入るまでの間は、地域コミュニティにはなかなか行かない。

以前は、子育てサロンを各コミュニティ単位でされていたと思うが、数年前から強制ではなくなった。私自身、こどもが小さい頃は、地域に子育て中のお母さんがいないかと探していた記憶があるので、子育てサロンが復活してほしいと思う。保育園利用でなかなか集まらない地区も出てくるとは思うが、こどもが小さい頃から、地域の子育て中の親子とつながりたいだろうと思う。そのつながりから、こども会、育成会などの意識が生まれるのではないか。

事務局 委員が言われるように、昔はたくさんあったと思うが、今は少なくなっている。地域にニーズがあるのかということや、そもそもこどもが少なくなつて、こどもに関係する組織が統合するなど、地域でなかなかこどもを見られない現状もある。どの組織も、地域でこどもを育てるという気持ちは持っておられるが、具体的に未就学児の子を対象にしたサロンができるかということ、それぞれの組織のことになるので、一律にやってくださいとは言いにくい状況である。

委員 22 ページの取組例の中の「地区・地域コミュニティへの呼びかけ」のイメージがつかなかったので意見した。

委員 民生委員さんから聞いた話だが、赤ちゃん訪問をすると、半分くらいの人に支援が必要だそうである。お母さんは非常に不安を持っているが、子育てをしている母親の数が少なくなっており、つながりがなく、孤立してしまっているという大きな課題がある。

社会福祉協議会では各地域でふれあいサロンを立ち上げている。そこは今は、お年寄りが中心だが、ぜひ子育て中のお母さんやこどもたちが集まれる場所になってほしいと思う。赤ちゃんからお年寄りまでが気楽に集まれるような、ごちゃまぜの居場所になってほしい。その辺りも働きかけていただけるとありがたいと思う。

委員 先程もあったが、以前のアンケートで、地域によって子育て格差があるとい

う意見があった。どう格差を少なくしていくかという視点は、大事なことだと思う。

51 ページに「子育て情報提供の充実」とあるが、これは非常に大事なことだと思う。今回のパブリックコメントにも、概要版がほしいとあった。この子ども計画は非常に充実した内容であるので、これを凝縮して、どの世代にも分かるような概要版にしてほしい。伝わりやすい内容で簡単に読めるもの、例えば、居場所がない子が概要版をパッと見てすぐに相談場所に行けるような、使いやすいものがよい。

子育て世代の地域サロンの話があったが、昨日塩津でもちつき大会があり、そこにはお年寄りの他、子育て中の方がお子さんを連れてきていて和気あいあいとした雰囲気だった。ただ、日曜ということもあり子育て中の方が少なかったので、美味しいおしるこが食べられるとか、おでんがあるとか、そういったメリットが何かあったらいいなと思った。そうすると、いろんな人が集まって、より賑やかな会になると思う。

事務局 子ども計画については、概要版と子ども版を作る。それらを活用しながら、市民の方、そして子どもたちにも計画の中身を伝えていきたいと考えている。

委員 親子の相談支援の充実として開設される施設名が「豊岡市子どもセンター」という名前になり、よかった。兵庫県の施設は「豊岡子ども家庭センター」と「家庭」がついているので、そこと区別でき、よいと思う。

ファミリーサポートセンター等多くの相談センターがあるが、概要版の中に、施設の一覧と詳細を載せてほしい。そして、例えば、不登校の子がどこに行ったらいいのかというのが利用者レベルで一目瞭然に分かるような概要版となってほしい。

事務局 子ども家庭センターの名称については、兵庫県が「豊岡子ども家庭センター」という名称を使っているので、本市では「豊岡市子どもセンター」という名称にさせていただいた。

多くのセンターがあるので、概要版の方で、できるだけ分かりやすい形で説明をつけたいと思っている。

委員 統合して、こういった相談はここに、というような文にされた方がよいかと思う。いろんな場所に名称が出てきて、分かりにくい。

事務局 施設の統合等については、今後研究していきたいと思う。意見として承る。

事務局 子どもを中心とした手続きで、組織名から選ぶという方はまずいらないと思うので、施設の統合等というよりは、どんなことをやっているかというのを表に出すことをまずは進めていければと思う。

副会長 他にご質問、意見等ないか。

それでは、協議事項ア「子ども計画（案）について」、原案どおりとしてよろしいか。

全委員 異議なし。

副会長 異議なしとする。次に移る。

(3) 意見交換 委員 委員 委員	感想になるが、先ほどコミュニティでのもちつき大会の話があったが、そういう地域のイベントの際に親も子も交流をして、新たな世代がつながりだしたと思っている。コロナがあつて、一度地域のつながりがリセットされてしまっているが、私自身も少しずつ地域のお父さんお母さんにつながりだしたなど実感しているので、イベント等利用しながらつながって行って、親も子も皆でハッピーな地域づくりができていけるような予感がしている。 私たちは、地域の中でつながりたい、つながることが大きな力になると思っているが、つながる機会を持たない人たちは、つながりたくないと思っている。イベントの際も、一緒に食べようと言っても、いや家に持って帰って食べます、という方もいる。 先日こども会の行事があつた時に、もっとお年寄りにお手伝いさせてほしいと役員さんをお願いして声を掛けてもらったら、結構多くのお年寄りが来てくれた。おじいちゃんおばあちゃんは、こどもたちの名札を見て名前を覚えて呼んでくれていて、すごく素敵だなと思った。今は、いろんな行事を自分たちだけでやってしまいがちだが、地域の人たちに呼びかけ、お年寄りの方の力もお借りしてどんどん参加してもらふ流れになると、もっとつながりが取り戻せるのではないかなということを実感した。 委員 出産した知り合いに、豊岡市は紙おむつの助成があるのか聞かれた。高齢者の紙おむつに対しての助成があるのは知っていたが、こどもの紙おむつについては知らず、返答に困った。こどもを育てていてちょっと助けてほしい時に、気軽に調べられるものがあるとよいと思う。ネットで検索ワードを入れてすぐに出ればいいが、出て来なかったら市役所に聞かなければならないとなると、ハードルが上がる。ほしい情報がすぐ得られないことにもどかしさを感じていた、ということがあった。
4 その他 (1) 次回の 会議日程 事務局 (2) その他	次回の開催は、2025年3月24日（月）13：30から、大会議室で開催する。
5 閉会	副会長あいさつ